



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 430 号

(創刊 1988.12.14)

2025.07.06.

第 50 回公害被害者総行動に伴う 国交省要請行動

6 月 25 日道路住民運動全国連絡会の 3 団体
(横環南線、東京外環道、中部横断道路(山梨
県側))による国交省交渉を実施した。



(左側：国交省役人 右側：道路全国連関係者)

連協の要求(昨年と同要求)と国交省の回答等

①横環南線事業の中止を求める

2023 年 6 回目の事業評価監視委員会では B/C
(費用対効果)は 0.8 であり、平成 23 年の金
子国交大臣の国会答弁(B/C1.0 以下の事業は再
評価を実施して事業継続の可否を検討する)に
従い中止すべきである。

【国交省回答】放射道路間を接続することで一
体(相模縦貫道南海老名 IC~釜利谷 JC 間)
とした効果を加味することで B/C 2.8 であり
事業は継続する。

【今後の対応】今後の政権動向をも視野に入れ
つつ国会对応を強化していく。

②釜利谷開口部は違法でありアセスのやり直し、 もしくは閉鎖を求める。

トンネル換気システム変更により釜利谷開
口部未処理排ガスは、南線全体の当初 8%だっ
たものが 40%の排出となった。アセスの基本環
境保全事項の違反でありアセスをやり直して
地元行政住民の審判を受けるべきである。しな
いのであれば閉鎖して環境維持を図るべき。

【国交省回答】住居は開口部から 210m 離れてい
る。環境影響予測値は環境基準値以下であり閉
鎖計画はない。

【今後の対応】アセスの基本計画に対する事業

者の勝手な変更について、法的に可能な範囲
の解明及び事業者の規定・コンプライアンス面
からの事業者見解を求めている。

③換気所の脱硝装置設置を要求する

平成 7 年都市計画決定時のアセス経緯(脱硝
装置設置無しでの環境基準値以下の予測に対
し、脱硝技術が実用化された場合は設置を検討
するとの事業者回答)を踏まえ設置要求

【国交省回答】現時点で環境基準値以下の影響
予測であり設置の必要はない。

【今後の対応】

アセス時審査における事業者約束事項の拘束
力について、法的、地元行政的、事業者の解
明を求めている。(事務局長 長谷川誠二)

2025 年度(令和 7 年)連協役員

【任期：6 月 1 日より 1 年間】全員留任

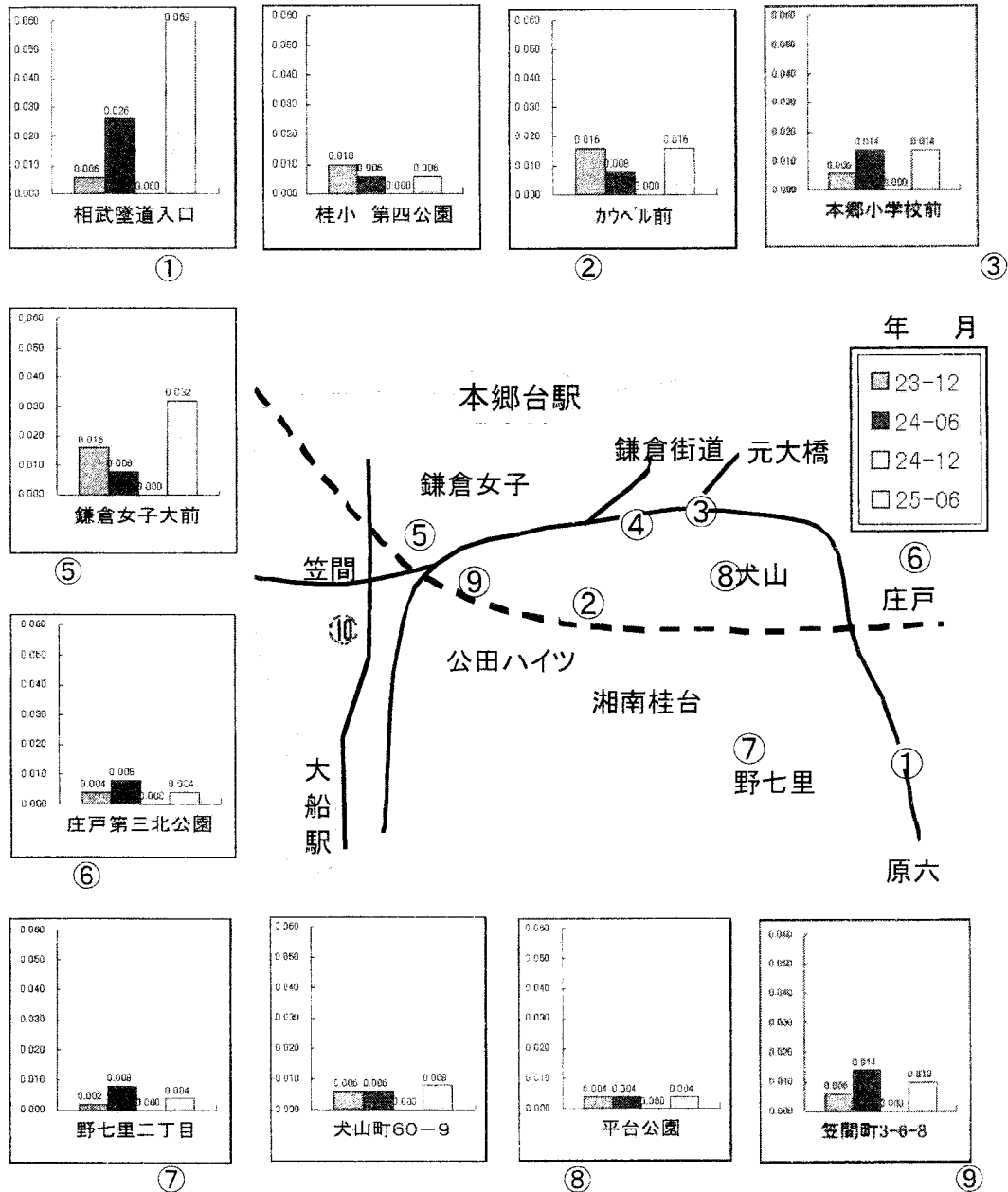
役員名	氏 名
会長	比留間 哲生
副会長	田中 克己
副会長	大橋 宏
副会長	金子 サキ
環境部長	鈴木 伸之
環境副部長	高村 鈴子
環境副部長	横地 美農里
事務局長	長谷川 誠二
ニュース編集局長	和田 雄偉
HP 担当	都築 ちひろ
会計	関口 豊子
会計監査	藤原 典子
顧問	青木 達喜

【対外活動報告】

- 06/01 公害被害者総行動「国民署名簿」提出
- 06/06 公共事業チェックとグリーンインフラを進
める会の第 2 回学習会(会長 ZOOM)
- 06/13 鎌倉簡裁へ(会長)
- 06/10 横浜市みどり環境局大気・音環境課訪問
(市より借入りオン騒音計の貸出条件変更、
低周波振動騒音問題への対処要請)
- 06/19 同上要請の市大気・音環境課よりのメール
回答受領
- 06/25 道路全国連国交省要請行動(会長他 4 名)

令和5年(2023年) 6月の定点測定結果まとまる

連協環境部では各団体参加のもと、毎年6月と12月の2回第一木、金、土曜日を使って栄区内の定められた場所22箇所に二酸化窒素の濃度を測定するカプセルを設置して、所謂定期定点観測を続けております。今回は台風2号接近の影響で曇り後豪雨強風の中での測定でした。以下は主な測定点の値を過去3回分と合わせたグラフです。いずれも環境基準0.060ppm以内でした。



二酸化窒素測定作業

試薬及び試薬付きろ紙は大気汚染測定運動東京連絡会より取り寄せております。捕集液をしみこませたカプセルを雨よけのカップに貼り付けて各団体に配布します。測定(木⇒金)。各団体は担当の各ポイントにその番号のカプセルを24時間設置した後回収します。分析(土)。カプセルに試薬を加えると、ろ紙が吸収した二酸化窒素と反応して赤紫色に着色します。その濃度をエコアナライザーNoxで測定します。ppmでデジタル表示されます。